

## ひばりが丘中学校の移転に伴う通学区域の見直しの検討に関する説明会（実施結果：速報）

### ■実施結果

開催日時	開催場所	参加人数
11月18日（土曜日）14時～	田無第二中学校体育館	10人
11月25日（土曜日）10時～	保谷小学校体育館	2人
11月25日（土曜日）14時～	ひばりが丘中学校体育館	6人
12月1日（金曜日）19時～	ひばりが丘中学校体育館	2人
12月2日（土曜日）14時～	中原小学校体育館	19人
12月7日（木曜日）19時～	田無第二中学校体育館	8人
12月9日（土曜日）10時～	谷戸第二小学校体育館	19人
12月9日（土曜日）14時～	谷戸小学校体育館	20人
12月12日（火曜日）10時～	保谷庁舎4階研修室	15人
12月16日（土曜日）14時～	住吉小学校体育館	30人
合計		131人

### ■アンケート結果

開催日	よく理解できた	理解できた	あまり理解できなかった	理解できなかった	提出したが回答無し	合計
11月18日（土曜日）	2人	4人	1人			7人
11月25日（土曜日）AM	1人	1人				2人
11月25日（土曜日）PM	1人	5人				6人
12月1日（金曜日）	2人					2人
12月2日（土曜日）	4人	8人	2人		1人	15人
12月7日（木曜日）	1人	4人				5人
12月9日（土曜日）AM	2人	10人			1人	13人
12月9日（土曜日）PM	3人	9人			1人	13人
12月12日（火曜日）	1人	12人			1人	14人
12月16日（土曜日）	5人	15人	3人		2人	25人
合計	22人	68人	6人	0人	6人	102人

開催日	1案	2案	どちらでも可	提出したが回答無し	合計
11月18日（土曜日）	5人	1人	1人		7人
11月25日（土曜日）AM	1人	1人			2人
11月25日（土曜日）PM		5人		1人	6人
12月1日（金曜日）		2人			2人
12月2日（土曜日）	7人	8人			15人
12月7日（木曜日）		4人		1人	5人
12月9日（土曜日）AM	4人	2人	2人	5人	13人
12月9日（土曜日）PM	2人	8人	2人	1人	13人
12月12日（火曜日）	7人	7人			14人
12月16日（土曜日）	11人	7人	1人	6人	25人
計	37人	45人	6人	14人	102人

説明会での質疑等(速報版)

第6回 ひばりが丘中学校及び田無第二中学校通学区域見直し等に関する地域協議会  
資料2 平成29年12月20日 教育企画課

【11月18日(土)】田無二中学校

	内 容	回 答	
1	現在、学校選択制度で泉町から谷戸小学校に通っているが、通学区域が変更されたらど ちらの中学校に通うことになるのか。	今現在はひばり中の通学区域のため、平成32年度までは田無二中への入学を希望され る場合、指定校変更制度(谷戸小からの進学先は田無二中のみのため)により申立てを していただくこととなります。今後のお手続は具体的に整理してご案内できるようにし ていければと思います。	手続
2	現在の小学校の通学区域から中学校に通う地域を確認するために、距離の話もあるた め、図面上で2案を比較できるように整理された資料があると良い。	今後ホームページ等でお示しできるよう調整していきます。	案内
3	現在、谷戸第二小学校の5年生で、谷戸町3丁目からひばり中学校に通うことになるが、 学校選択制度の通常の枠より多くすることを考えているのか。学校選択制度を使わない と仮定して、田無二中に行くことになるが、中3で新しいひばり中に転校という手続に ついて確認したい。	平成33年度から新通学区域が適用されます。現在の通学区域で田無二中にそのまま在 籍していただき、卒業していただくかたちとなります。	手続
4	通学区域が遠くなることが想定されるが自転車通学についての検討について教えて欲し い。	通学の安全面の観点から自転車通学は認めていないため、公共交通機関と徒歩というこ とでご案内をしております。	通学距 離
5	本日説明していただいたように、今後も丁寧な説明と情報共有に努めていただきたい 。	今後も丁寧な対応に努めていきます。	案内
6	先々の学区変更を見越して多くの方が学校選択の申立てをした場合、受入枠を超えた 場合は抽選になるのか。	生徒数と学校施設の状況を総合的に勘案して受入枠を設定させていただくことになるた め、受入枠を超えた場合の抽選の可能性はあります。谷戸町、ひばりが丘3丁目の集合 住宅の建設があり、児童生徒数で未確定の部分もあるため、その当たりも十分分析しな がら早めにお手続の案内等ができるかどうか検討していきます。	手続

【11月25（土）】保谷小学校・ひばりが丘中学校

	内 容	回 答	
1	中原小学校の建替えスケジュールを教えてください。	平成30年の3学期から平成32年の2学期まで新ひばり中の校舎を中原小の仮校舎として使用します。その間に中原小の校舎を現地建替えし、平成32年の3学期から新校舎に移る予定です。	スケジュール
2	来年、新小1の子どもがいるが、今年度の学校選択制度の受付（10月）が終わった後にこのご案内というのはタイミング的にどうかと思う。このような情報がはっきりしてから学校選択制度の申立てがあるといいと思う。	今現在の開発もあり、生徒数の分析と学級数の分析も行ってきて中で直近のデータを踏まえないと予測が立たないということもあり、10月の学校選択までには間に合わなかったということです。	スケジュール
3	保谷町からは保谷中学校も通えない距離ではないので、中学進学に当たっては、今までの小学校の環境と変わらない中で、中学校もスタートさせたいという考えがあるが、個別の理由というものでの指定校変更はないか。	兄弟姉妹関係以外では特に例外的な規定はございません。1年以内に引越し予定の区域の中学へ指定校変更（売買契約書等の確認による）というものはあります。お手続きとしては学校選択の申立てをしていただくこととなります。	手続
4	参加者が少ないがアナウンスは十分行ったのか。	学校を通じて市内の全保護者にお知らせを配布するとともに、市報やホームページにも掲載しました。また、市内の小中学校、図書館、公民館にはポスター掲示を行っています。	案内
5	今回の見直し以外に別の見直しは検討されているのか。	具体的に方向性が決まっているものはございません。	案

【12月1日（金）】ひばりが丘中学校

	内 容	回 答	
1	平成33年度2学期からの移転を前倒して4月にできないのか。前倒しできれば中原小も早く移転できるのではないのか。	建設のスケジュールの中で、中原小の建設を早めることは難しく、このスケジュールが一番早いかたちと考えています。本案が最短のスケジュールになります。	スケジュール
2	指定校変更は兄弟姉妹が同じ在籍期間となる場合であり、それ以外は学校選択となるのか。	そのとおりです。	手続
3	指定校変更が多くなると学校選択制度の枠が小さくなるのか。	学級数や生徒数が多くなると枠が小さくなることは考えられます。	手続
4	受入枠の設定のタイミングはどうなっているのか。	今現在、開発が進んでいるところもため、今後転入してくる状況も把握しつつ、兄弟関係の人数も一定程度把握した上で、受入枠を定めていければと考えています。分析を適切に行いながら調整を図れればと考えています。	手続
5	1・2案で通学距離が長くなる場合どの程度になるのか。直線距離でも良いが教えて欲しい。	概ね2キロ以内と考えています。	通学距離
6	通学距離は国で定めはあるのか。	中学校が6キロ以内、小学校は4キロ以内となっています。	通学距離
7	今の中原小の5年生は、ひばり中の暫定校舎で6年生を迎え、卒業直前で中原小新校舎で卒業式を迎え、現在のひばり中に入学式を迎え、平成33年にひばり中新校舎へということとなる。	少しでも新しい中原小の校舎に入れたいというようなご要望もいただいていたことから、工事を前倒したスケジュールを組ませていただいています。日常生活に必要なところは小学生仕様に改修するなどの配慮の部分で転用改修も必要となっています。いただいた要望で最も早いスケジュールであると考えています。	スケジュール
8	つくし学級の児童のことを考えると新ひばり中の特別支援学級設置に関する流れを確認したい。	今現在、ひばりが丘地域は青嵐中の特別支援学級の区域ですが、新ひばり中への特別支援学級設置に向けた流れについても整理してご案内できればと思います。	手続
9	泉小は閉校に伴い谷戸二小が指定校であったが、学校選択で谷戸小に通学している。第2案の場合、ひばり中に進学する場合はまた学校選択を申請しなければならないのか。	平成33年度以降、第2案は田無二中の区域となり、谷戸小に進学する中学校はひばり中となります。谷戸小に学校選択で入学している場合は進学先がひばり中1校であるため、指定校変更の適用を想定しているため、どちらも選択できることとなります。お手続きについては、丁寧に案内し、ご覧いただけるようにしていければと考えています。	手続
10	ひばり中跡地はどうなるのか。	これから検討していく予定です。	その他
11	説明会の資料は今後増えていくのか。	公平性の点も踏まえ、説明会開催中に追加配付ということではなく、ホームページに掲載できればと考えています。	案内

【12月2日（土）】中原小学校

	内 容	回 答	
1	これまでの説明会でどんな意見が出たのか。	配慮に関するご意見や資料の追加作成に関する要望などがありました。	その他
2	中原小の小5は、仮校舎での卒業式になるが、どのように検討されているのか。	現在、検討しているところです。	その他
3	田無二中の生徒が増加傾向であれば、保谷中が近い区域もあるため、他の区域も合わせた検討もしてはどうか。	今回はそのような枠組みでは考えていないが、貴重なご意見としていただければと思います。	その他
4	通学距離の視点での考え方はどうなのか。	市内の通学区域は距離的な要因も含め施設面、児童生徒数の状況や将来推計など様々な要因について考慮しており、今回の変更地域に限らず、必ずしも指定校が最寄の学校となっていないという状況は市内の他の箇所にもあります。	通学距離

【12月7日（木）】田無第二中学校

	内 容	回 答	
1	12案が中間まとめの2案になった理由は。	通学距離のほか、今後の学級数、学校経営、小学校から中学校への進学先、小中連携の視点で検討し2案となりました。	案
2	谷戸小の子が今後、ひばり中区域になることを想定した場合の手続について確認したい。	平成32年度入学までは、学校選択制度で申立てしていただくこととなります。	手続
3	第2案はわかりやすいと思うが、第1案が残った理由を教えてください。	通学距離、学級数、学校経営を踏まえ、選定されたものです。3案あったものから委員さんの意見を踏まえ、地域性の観点などを踏まえ微修正したものが第1案です。	案
4	谷戸小の育成会に属しているが、中学校が2校になるより、二中からひばり中に1校になるほうが地域から学校を育てていく、地域の中で大人が関わっていくという点でも良いと思う。小中学校の連携が大切であり、子どもの情報の引継ぎなどの点からも2案が良いと思う。	ご意見ありがとうございます。	案
5	今現在、小学校5年生と3年生の子どもがいる。保谷中を上の子が学校選択を希望し、通れば良いが、抽選で希望が叶わなかった場合、ひばり中となる。ひばり中となった場合、下の子を移転先まで通わせるのは厳しいと考えているが、その当たりの配慮は考えていないのか。	今現在は、学校選択、指定校変更している兄弟が在学している間に入学する場合は指定校変更の手続きができるようになっています。通学区域の変更に係る兄・姉と同じ学校を希望した場合の配慮は協議会の意見の中でも話が出ている。移転にさしかかる時点の配慮に関するご意見については持ち帰らせていただき、検討できればと思う。	配慮
6	今小5で移転の対象になるが、ひばり中は通学距離が遠い。中学入学時に二中に学校選択したいと考えているので、対象者への配慮を是非お願いしたい。	貴重な意見ですので持ち帰らせていただければと思う。	配慮
7	泉小学校の統廃合のときに配慮があったが、移行期間中の配慮はないのか		配慮

【12月9日（土）】谷戸第二小学校

	内 容		
1	1案と2案以外になることはあるのか。	建替準備検討協議会で12案が示され、通学区域のわかりやすさ、通学距離、学校施設、学校経営も踏まえて総合的に検討した結果の2案となるため、若干の修正が入る余地があるかと思いますが、基本的にはこの2案となります。	案
2	ひばり中が移転することに伴いひばり中在籍の生徒が移ることはわかるが、他の中学校の生徒はどうか。	平成32年度までに入学をされた生徒は元々の通学区域の学校に引き続き通っていただくこととなるため、途中で学校が変わるということは基本的にはありません。	手続
3	平成33年度の移転の時期について確認をしたいが、4月又は2学期からのように区切りの良いところで決まっているのか。	ひばり中は平成33年度の2学期から移転開校となります。中原小が暫定校舎として使用した後に小学校仕様から中学校仕様に変える工事があります。それを終えて移転開校するのが2学期ということで予定しています。	スケジュール
4	移転に伴い在籍している生徒に荷物の移動をするなどの負担になることはないか。何かそういう手伝いなどをすることはあるのか。	引越は基本的には業者が様々な物を運ぶ方向で考えています。細かなものの整理などはお願いすることもあるのではないかと思います。	その他
5	移転の際に部活等の道具なども影響してくると思うが、環境の整備はどのように変更されるか。部活動が継続して同じような環境で継続していけるのか。	継続していけるようにと考えています。それに当たっては学校の先生にもご協力いただき、影響なく引き続きできるようにと担当部署から聞いています。	その他
6	学校選択の受入枠は生徒数や学校施設を踏まえ、総合的に勘案して設定予定とあるが、どの程度まで考慮するのか。平成33年度に新しく移転開校するが学校を選ぶ際に学校の評価や学校の基本方針などがあると思うが、その辺りはそのまま引き継がれるのか、ひばり中の先生がそのまま来られるのか。	今現在の学区人口に加えて住民の方々の移動もある中で、集合住宅の建設も一部地域で行われており、生徒数がどのように推移していくのか見極めた上で学校施設に受入可能な人数をオーバーしないよう学校運営に支障がない中で設定ができればと考えています。学校選択は理由を問わないため優先順位はないが、配慮をして欲しいという話もある中で、現行の制度に加えて新たな枠組みができるかというところは再検討できればと思います。 移転に伴って教員もそのまま引越すこととなるため、特に変更はないと思います。	手続
7	指定校変更は兄弟姉妹が同時に在籍していることが条件となるのか。	そのとおりです。条件を満たしていない場合は学校選択制度で申立てをしていただくこととなります。学校選択は受入枠があるため、必ずしもご希望に添えるかどうかということはありません。	手続
8	現在の案だとH33年度以降の入学する生徒が新通学区域とあるが、4年生の子どもがいるが、今は二中であるが、新通学区域になるとひばり中となる区域におり、地域的にも近いので、最初からひばり中へと考えるが、その場合も学校選択制度の受入枠となるのか。	基本的には学校選択制度の申立てをしていただくことで考えています。	手続

9	基本的な考え方に教員の確保、学校経営の安定化とあるが、移転に伴い先生すべてが移転されるということによいか。二中から新しいひばり中に移転ということもあるのか。	教員の確保も含めた学校経営の安定化の点は文部科学省の資料等にもあります一定程度の学校規模ということがあります。学校の規模で教員が配置されるため、組織的な学校運営ができるよう、学校規模と教員の計画的な配置という視点もあります。東京都から配置される教員の年度途中の異動は、基本的に特段の事情がない限りはないと考えています。	その他
10	現在谷戸第二小学校の小4だが、2案でまとまっているとのことだが、これからどのようなプロセスを経て一つの案に絞られるのか。また、いつまでに決定するのか。	今回の説明会では中間まとめということで説明させていただいています。今回の説明会でいただいたご意見を協議会に報告させていただき、ご意見を踏まえて最終的に1案に絞り込むという流れで考えており、今年度中に決定するかたちで考えています。2月の上旬までには協議会の報告をまとめ、その後に教育委員会に報告した上で、そこで決定という流れで考えています。	案
11	今年度の田無二中とひばり中の学校選択の結果はどうだったか。	田無二中の今年度の受入枠40人に対し、およそ30人前後であったと思います。ひばり中に関してはその数字より下回っていたと思います。こちらについては、西東京市のホームページに学校選択制度の申立て状況を掲載しています。11月6日あたりに掲載しているので、よろしければご覧いただければと思います。	その他
12	1案と2案ともにひばり中区域となり、バス通りを渡って通学するのが不安である。学校選択制度では元々の学区は考慮されないのか。	通学路の安全面ということでの優先枠は特にありません。学校から児童生徒に向けて交通安全に関する指導の徹底をしていただき、また、ご家族の方々からお子様へ安全指導をしていただいているところです。道路環境、交通状況等を踏まえて、毎年、小学校の通学路の安全点検を行っています。その中で危険箇所の抽出を行いながら、安全確保に関する検討を行い、その後の対応も行っています。今後、皆様方が心配される交差点などがありましたら、田無警察、道路管理者、東京都と協議しながら通学路の安全確保に努めてまいりたいと思います。	通学距離
13	合併時は特例的な措置があったが今回はどうか。	調整することが多いと生徒数、学級数の確定が難しくなり学校の体制も揺らいでしまうため、今後の生徒数の動向などを踏まえ配慮の点については検討していきます。	配慮

【12月9日（土）】谷戸小学校

内 容		
H33の移転時期がずれることはあるのか	今の段階ではこちらの予定で進めてまいります。学期のタイミングでないとお客様方に影響がありますので、このポイントはずらさないようにと思っております。	スケジュール
平成33年度に中2だが、新校舎まで2分くらいのところに住んでいるがそのあたり配慮していただくことはあるのか。	今現在は兄弟姉妹関係での配慮の話をしていの中で、配慮については今までの説明会でもお話が出ています。生徒数、学校施設の状況等も勘案し、施設への収容の可否や学校教育に影響が出ないようにということがありますので、そのあたりも慎重に考えながらどこまで配慮できるか引き続き検討させていただければと考えています。	配慮
H33の移転の際に伴って部活への影響はあるのか。部活が暫くできないということはないか。	部活については、指導関係になるため正確なお答えが難しいが、そのあたりは継続できるようにかたちで検討しております。建物自体が移転するため、どこまでの制約が出るのかは引き続き検討になるのかと思います。学校の先生にご協力いただきながら引き続き行えるようなかたちで考えていきたいと思っております。	その他
指定校変更の兄弟姉妹関係というのは在学中だけか。変更予定はないか。	今現在運用している流れではそのとおりです。基本的には変わる予定はありません。	手続
ひばりが丘中学校の跡地はどうなるのか。	これから検討していく予定です。	その他
現在小学5年生で中学3年の夏に移転となるが、受験を控えているため影響が大きい。平成34年の3月に遅らせることはできないのか。	少しでも新しい中原小の校舎に入れられないかというようなご要望もいただいているなどのご意見等も踏まえ、本スケジュールを組んでいるためご理解のほどお願いいたします。	その他

【12月12日（火）】保谷庁舎4階研修室

	内 容	回 答	
1	<p>移転の対象者である現4年・5年の中学校入学時の配慮がないのは納得ができない。</p>	<p>平成32年度までに入学の方は現在の通学区域となり、平成33年度入学から新通学区域となる中で、兄弟姉妹関係に関する配慮についての話は協議会の中でも出ています。学校選択制度は今後の開発状況も踏まえ、生徒数の推計を精査しながら学校施設の状況も勘案して受入枠を決定します。配慮の部分は説明会の意見等を報告させていただき、検討していくこととなると思います。ただし、調整する事項が多いと生徒数、学級数が決まらずに学校運営、教員の体制に影響が出てくるため、慎重に検討しなければならないと考えています。</p>	配慮
2	<p>移転時に兄が卒業するため同じ期間に在学できず指定校変更の対象とならない。同じ学校に行かせたいので配慮の検討をお願いしたい。</p>	<p>協議会に報告させていただきます。</p>	配慮
3	<p>通学区域変更前に入学する子と、通学区域変更後に入学する年の離れた子がいるが保谷中を希望する場合は、学校選択をすればいいか。</p>	<p>そのとおりです。</p>	手続
4	<p>以前、谷戸小と中原小は調整区域があり、私の子どもは調整区域終了後の入学であった。谷戸小の区域でも中原小のほうが近い地域があり、調整区域で中原小を選んでいった。当然、調整区域のようなかたちがあると思っていたが、どうか。学校選択で承認されたお子さんが私立等に合格した場合に抽選でもれた方を考えるとどうか。</p>	<p>生徒推計は10年先くらいまで行っている中で、今後集合住宅等に入居する子どもの数、出生する数なども推計しながら分析しています。さらに中学は私立への進学する割合も多く分析するには難しい部分があります。現在は1月20日までに学校選択の取り下げがあれば繰り上げとなっていますが、その当たりの部分の調整も含めて、規則等でお手続を規定しているため、変更する場合には改正が必要となります。ただ、制度改正するに当たっても将来的な影響も十分、分析する必要があり、場当たりの対応で先々厳しい状況にならないように慎重に検討しなければならないと考えています。</p>	配慮

【12月16日（土）】住吉小学校

	内 容	回 答	
1	指定校変更制度について、今住吉小に通っていて第2案になると二中区域となるが、通学距離が長くなるため、ひばり中ではなく例えば青嵐中にいきたいという場合に、受入枠に住吉小から行く人数というものを勘案してもらえるのかどうか。住吉小の区域で他の地域からだいたいどのくらい人が来て、どのくらい増えるのかという予定を教えてください。	青嵐中学校を希望される場合、学校選択となりますが、申込者はここ数年受入枠内で推移しています。来年度入学の学校選択は田無二中が30名程度、ひばり中が15名程度です。地域毎の出入りは、一様ではなく動きがあるため、お答えすることが難しいですが、個別にお聞きいただければ、お答えできる部分でお話できればと思います。	手続
2	泉小がなくなりひばり中移転となると避難所の収容人数の観点からいうと地域的に厳しい状況が想定されるが、そのあたりはどう考えているのか。	所管している危機管理室では今回のひばり中移転の情報を確認しているため、今後に向けて検討していると聞いています。	その他
3	今後、できる道路のことを考えると1案のほうがいいのではないかと思う。	ご意見ありがとうございます。	その他
4	今後、1案に絞られると思うが、どのように決定していくのか流れを教えてください。	市民説明会でいただいたご意見を協議会に報告させていただき、協議会でご意見をいただきながら報告書をまとめることとなります。	案
5	説明会に参加できる人は限られているため、各家庭にアンケートをとった上での決定のほうが良いのではないか。	より多くのご意見をいただくために市民説明会を10回開催させていただいています。ご意見は協議会に報告させていただきます。	案
6	2案が東西と南北というように見えるが、そのあたりについて伺いたい。	先ほども説明でありましたこれまで課題等を整理しながら12案が出され、さらに学級数やさまざまな視点で検討して出されている案であり、単純に東西と南北に分けているわけではございません。	案
7	通学区域変更前のため、在学中に移転を迎えることとなるが、泉町6丁目からだと距離が遠くなるため、配慮して欲しい。	協議会に報告させていただき、他の説明会で出ている配慮の部分と合わせて検討させていただければと思います。	配慮

分類

手続	17
配慮	9
案	9
スケジュール	6
通学距離	5
その他	13
計	59